

7月10日 びわ湖の日

E/SASV Games (Electronic/Solar-powered Autonomous Surface Vehicle Games)(イーサスファイゲームス:バーチャル&リアル空間でのソーラーボート競技大会)

琵琶湖・川

里・山

魅力発見

遊ぶ

学び・ふれあう

食べる

買う・つくる

きれいにする

〈開催日時〉 ①7月1日-7月2日、②8月19日-8月20日、③8月26日

〈開催場所〉 ①立命館大学びわこ・くさつキャンパス ローム記念館 (草津市野路東1丁目1-1)

②琵琶湖 (マキノサニービーチ、竹生島往復) (高島市マキノ町西浜)

③立命館大学茨木キャンパスグランドホール (大阪府茨木市岩倉町2-150)

〈開催時間〉 ①9時-18時、②8時-18時、③9時30分-16時30分

〈参加費〉 ■団体(企業・大学の研究室、サークル等) 10,000円

■個人(家族・親戚・友人等で構成のチーム) 5,000円

■18歳未満の学生を主として構成のチーム 無料

〈参加方法〉 E/SASV Games 公式HPより申込み (URL: <https://e-sasv-games.official.jp/>)

〈申込締切〉 6月15日まで

□仮想空間での競技会(立命館大学で実施)は、マキノから竹生島の往復を仮想空間で再現し、無人航行のソーラーボートを走らせます。

ソーラーボートは参加チームで3DCAD等を用いて設計してもらい、設定されたA,B,C地点の3つを通過するとポイントが加算され、ポイントの合計得点で勝敗を決めます。温度上昇によるソーラーパネルの発電効率低下など、環境は限りなく琵琶湖の自然環境を再現しています。

■仮想空間での競技会に勝ち残った5チームは、実際に船を作ってもらい、琵琶湖で決勝戦を行います。船を制作する際の技術提供等は支援します。ルール、走行コースは仮想空間での競技会と同様です。

□競技会の模様は、後日立命館大学で放映します。本大会には小学生、中学生から大学生、一般社会人、企業の参加が見込まれ、特に次世代を担う小中学生から、高校、大学生の参加により、ジュニア世代がソーラーエネルギーの活用や太陽光発電等への理解を高め、エネルギー問題に対し考え、行動することで深刻な温暖化から地球を守る一役を担ってくれる人材となりうることを期待しています。

〈主催・お問い合わせ先〉 〒520-0047 大津市浜大津5-1-1

認定NPO法人 びわ湖トラスト E/SASV Games 実行委員会 TEL077-522-7255

